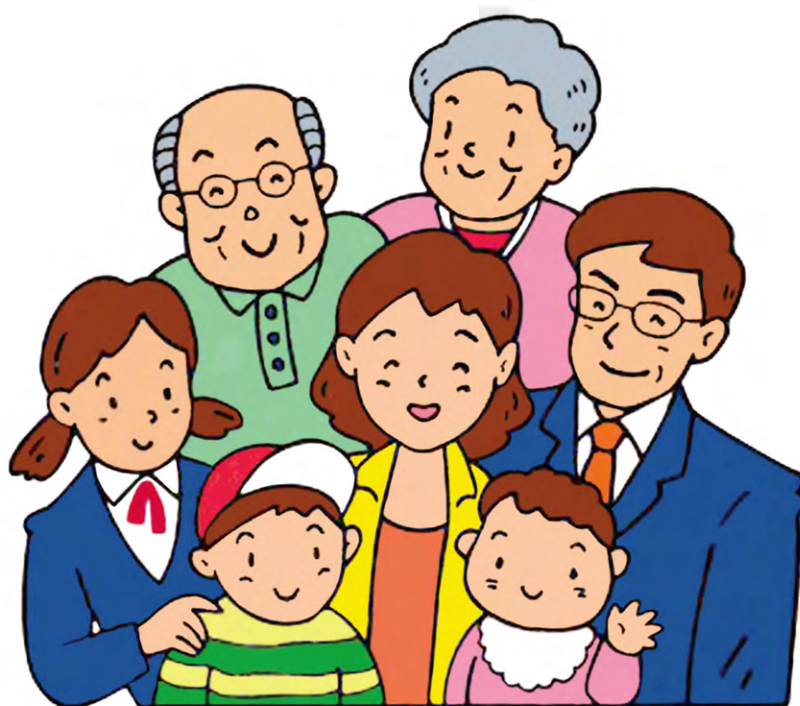


阿久比町生涯学習推進計画

～学び ふれあい 育む未来～



令和2年3月

阿久比町生涯学習推進協議会

阿久比町教育委員会

は じ め に

近年、平均寿命が長くなって持ち時間が増え、その時間で何をするかはそれぞれの人にとって切実な問題です。学習は、学生にとっても重要なことであるとともに、社会人にとっても大切なことです。また、定年してからも多くの時間をどのように使うかどうかにより、一人ひとりの人生は大きく変わってきます。仕事を終えてからの生活をどのように充実した時間を使うかで、それぞれの生き方が大きく変わります。自分に与えられた時間を有効に使い、学び続けることで、仲間も増え、楽しく自分の生活を充実したものにするができるようになります。

「生涯学習」は、充実した人生を過ごすために、なくてはならないものです。誰にも平等に与えられている貴重な時間をいかに過ごすかは、その人の残りの時間を有効に使い、技術的に高めあい、仲間とともに活動することで、人生を楽しく生きがいを持って過ごすことにつながります。阿久比町の生涯学習の基本的な考え方は、「住民一人ひとりが自由に学習機会を選択して学ぶこと」というものです。

あらゆる人に対して平等に分け与えられている時間を、有効に使いながら趣味を広げ、仲間との出会いや語らいの中で、充実した人生を送ることが可能となります。

学習意欲さえあれば、いつでもどこでも始めることができます。簡単にとりかかることができるものや、簡単に始められものがたくさんあります。少しのきっかけでスタートすることができればあまり負担にならないでしょう。そして、仲間や講師との会話は、楽しいひと時を過ごすものになっていき、人間関係も深まります。同じ時間を共有して活動することが、人間関係を広め、仲間と過ごす充実した時間になり、楽しさも増えていきます。

また、定年後に、今までできなかったことを新たに学び始めることは楽しいものです。これからの生活のスタイルを、どのようにしていくかは大切な課題になります。自分にとって有効な時間を、誰と何をして過ごすとよいかについては、大切なことと考えます。スポーツをやるのもいいし、自分の趣味を極めていくことも素晴らしいことです。この生涯学習は、その人に合ったやり方で構いません。都合のつく時間に好きな場所で楽しく学んでいくことが大切です。

退職する前から、少しずつ取り組み始めておくと、同じ種目を趣味とする仲間が自分の身の回りに、集まるようになります。そこで、仲間との人間関係を広め、自分の楽しみを深めることができることで、今までと違う活動ができることにより、充実した人生を送っていたきたい。

阿久比町教育委員会
教育長 石井 勝巳

目 次

I 推進計画策定にあたって

- 1 なぜ生涯学習か 3
- 2 阿久比町の現状 5
 - (1) 位置と自然条件
 - (2) 社会条件
 - (3) 人口と市街地形成
 - (4) 生涯学習施設の現状
- 3 町民アンケートの結果 7

II 基本計画

- 1 基本的な考え方 11
- 2 基本目標 11
- 3 基本的視点 11
- 4 計画の構想図 12

III 具体的な施策

- 1 生涯学習を活性化するために 13
- 2 ライフステージに対応するために 15
- 3 文化・教養を高めるために 17
- 4 スポーツに親しむために 19
- 5 保健・食育で育むために 21
- 6 展示会・大会で成果を披露するために 23
- 7 相談に寄り添うために 24

IV 資料

- 1 阿久比町生涯学習推進協議会設置要綱 25
- 2 阿久比町生涯学習推進協議会委員名簿 27
- 3 生涯学習に関する町民アンケート調査結果 28
- 4 生涯学習関連施設はどこにあるの? 32

I 推進計画策定にあたって

1 なぜ生涯学習か

「生涯学習」という言葉は、一般には、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。また、生涯学習社会を目指そうという考え方・理念自体を表していることもあります。

また、「生涯学習社会」とは、「人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような社会であるとされています。平成 18 年 12 月に施行された改正教育基本法第 3 条においても、新たに「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことができる社会の実現が図らなければならない。」とされています。

こうした生涯学習社会の構築が必要な理由としては、これまで次のような点が指摘されてきました。



第一は、社会・経済の変化に対応するため、人々は絶えず新しい知識や技術の習得を迫られていることです。これらの学習需要に的確に対応し、生涯学習の基盤を整備することは、学習者自身の技能・経歴の向上のほか、社会制度の基盤である人材育成にもつながり、社会・経済の発展に寄与することが期待されます。

第二は、自由時間の増大などの社会の成熟化に伴い、心の豊かさや生きがいのための学習需要が増大していることです。これらの学習需要にこたえるための生涯学習の基盤を整備することは、学習者の自己実現のみならず、地域社会の活性化、高齢者の社会参加・青少年の健全育成など、社会全体にとっても有意義です。

第三は、生涯学習の基盤を整備し、学歴だけでなく様々な「学習の成果」が適切に評価される社会を築いていくことは、これまで進められてきている教育改革の課題の一つである学歴社会の弊害の是正にもつながるということです。

(文部科学省 文部科学白書より抜粋)

愛知県では、平成 30 年 3 月に生涯学習施策の方向や事業を示した「第 2 期愛知県生涯学習推進計画～自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会～」を策定しました。策定の背景として、次のような生涯学習を取り巻く社会経済情勢の変化を挙げています。

- ・ 未曾有の超高齢社会
- ・ 子ども・若者の貧困問題
- ・ 家庭教育の困難化
- ・ 情報環境の変化
- ・ 社会のつながりの希薄化
- ・ 世界的な開発制約要因の強まり
- ・ 雇用環境の変化
- ・ 外国人県民の増加による課題

県計画では、「自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会」を実現していくことを基本理念としており、それを実現するため、「個人の自立を促し、学びを生かす機会の充実」「地域の絆づくり・ネットワークづくりの促進」「多様な主体による連携・協働の強化」の三つの視点を挙げています。また、県の生涯学習施策を展開する 5 つの基本的な柱を次のように掲げ、これを体系化し、毎年度、「愛知県生涯学習推進計画事業」を取りまとめています。

- ① 長寿社会を豊かに生きる生涯学習
- ② 家庭と地域の教育力を高める生涯学習
- ③ 持続可能な社会づくりを進める生涯学習
- ④ 職業的自立を高める生涯学習
- ⑤ 生涯学習推進体制づくり

このたび、阿久比町では、生涯学習に関する取り組みを総合的・計画的に推進するため、「阿久比町生涯学習推進計画」（以下「本計画」という）を策定します。本計画の策定に当たっては、国、愛知県の動向やこれまでの阿久比町の教育、生涯学習、文化芸術、スポーツ活動に関する施策の実施状況等を踏まえるとともに、変化する社会情勢に対応したものとします。



パソコン教室・ワードの基礎

2 阿久比町の現状

(1) 位置と自然条件

阿久比町は、知多半島のほぼ中央に位置し、半田市、常滑市、知多市、東浦町に接しており、狭い知多半島内にありながら、海岸線をもっています。

東西最長 6.1 km、南北最長 5.9 kmと、正方形に近い形をしており、面積は 23.80 km²です。

気温は、平均で夏季(8月) 28.5℃、冬季(12月) 6.5℃と、年中を通して温暖な気候であり、降雪はほとんど見られません。



(2) 社会条件

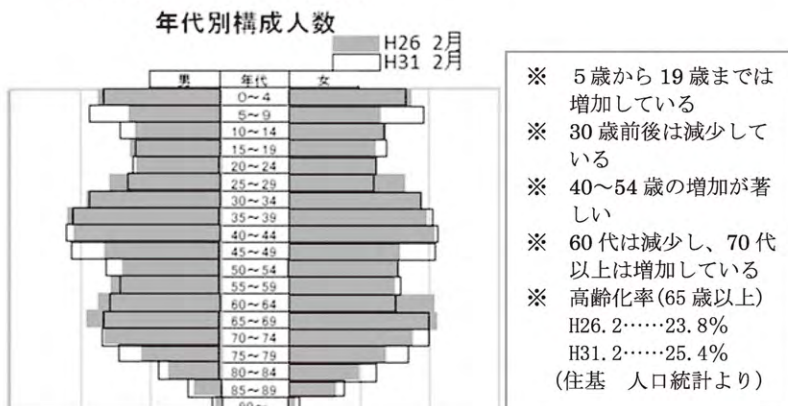
阿久比町は、古くは「阿具比」「阿古居」「開江」などの字が使われていました。その後、和銅 6 年(713 年)の「二字」「嘉名」の令によって改められたものと考えられる「英比」の字が使われるようになり、現在の「阿久比」の字は、後世になって、英比谷の十数カ村が合併したときから使われるようになりました。

明治 11 年、それまでの阿久比谷 16 カ村を統合して阿久比村が成立しました。その後、明治 22 年に阿久比村・東阿久比村・上阿久比村の 3 カ村に分かれました。そして、明治 39 年に再び 3 カ村が合併して阿久比村となり、昭和 28 年に町制を施行して現在に至っています。

農業においては、昭和 36 年 9 月愛知用水事業の完成によって農業用水を導入し、長年干害に悩まされていた農業もようやく大きく進展するに至りました。昭和 44 年に始まった阿久比川両側の水田を始めとした、約 350ha の圃場整備事業が昭和 56 年 3 月末に完了しました。知多半島道路西地区の約 720ha の農地についても基盤の整備に努め、機械化、協業化、裏作の合理的運用を促進するなど営農の合理化に努めています。

平成 2 年には草木地区、平成 6 年には南部地区、平成 10 年には中部地区において工業団地が整備され、先端産業の企業が操業しました。

(3) 人口と市街地形成



町制施行当時 13,374 人であった人口は、豊かな自然と名古屋から 25 km 圏内という好条件に恵まれ、昭和 38 年の阿久比団地入居開始を契機に民間宅地開発が進み、順調に増加してきました。また近年、「陽なたの丘」を始めとする土地区画整理事業の完了に

より人口が増加し、人口増加率は愛知県でも上位に位置しており、平成 30 年の人口は、町制施行当時の 2 倍を超えて 28,728 人になりました。ただ、人口増加は新興住宅地だけに見られ、他の多くの地域は少子化・高齢化が進み、最近 5 年間の高齢化率は、23.8%から 25.4%へと上昇しています。



平成 10 年に、阿久比駅前土地区画整理事業が完了し、阿久比町の表玄関が完成しました。平成 20 年 12 月には、阿久比駅に特急電車が停車するようになり、名古屋へのアクセスが格段に良くなりました。

(4) 生涯学習施設の現状

本町は、小学校 4 校・中学校 1 校・保育園 9 園・幼稚園 1 園があるほか、以下のような施設を有しています。

施設名	施設概要	設立年月日
坂部公民館	講堂・会議室・調理実習室	昭和 49 年 3 月
丸山公園	運動広場・テニスコート	昭和 49 年 11 月
中部公民館	講堂・会議室・調理実習室	昭和 50 年 3 月
板山公民館	講堂・集会室・会議室・調理実習室	昭和 50 年 6 月
丸山公園武道場	武道場	昭和 52 年 2 月
中央公民館本館	集会室・研修室・和室・調理実習室・大会議室・資料室等	昭和 52 年 9 月
草木公民館	講堂・研修室・会議室・調理実習室	昭和 54 年 3 月
宮津公民館	講堂・研修室・会議室・集会室・調理実習室	昭和 55 年 3 月
白沢区民館	会議室・体育室・卓球室	昭和 57 年 12 月
図書館	一般開架室・一般閲覧室・児童閲覧室・学習室等	昭和 58 年 3 月
板山グラウンド	運動広場	昭和 58 年 12 月
白沢グラウンド	運動広場・テニスコート・多目的広場	昭和 62 年 2 月
オアシスセンター	保健センター・高齢者生きがい活動施設	昭和 63 年 3 月
草木グラウンド	運動広場	平成元年 12 月
勤労福祉センター	多目的ホール・集会室等	平成元年 12 月
ふれあいの森	ホテル養殖場・芝生広場・体育室・パターゴルフ場・デイキャンプ場等	平成 5 年 4 月
スポーツ村	野球場・陸上競技場・室内練習場・トレーニング室	平成 15 年 4 月
中央公民館多目的ホール	ホール・練習室	平成 29 年 3 月

3 町民アンケートの結果

令和元年6月、「生涯学習に関する町民アンケート」を実施しました。町民の生涯学習に関する意識や学習の実態として以下のような特徴がみられます。

【調査対象 阿久比町在住の16歳以上の男女無作為抽出1,000(男女各500)人 回収397人】

① 14. 1%の人が「生涯学習」という言葉を初めて聞いたと答えています。

内容を理解していると答えた人は、男女あわせて38.3%となっており、残り約6割の方は理解が充分でないことがうかがえます。

また「16～19歳」・「20代」では、「初めて聞くことば」と回答した人の割合が最も高くなっており、若年層の認知度が低いこともうかがえます。

② 34%の人が現在学習中です。

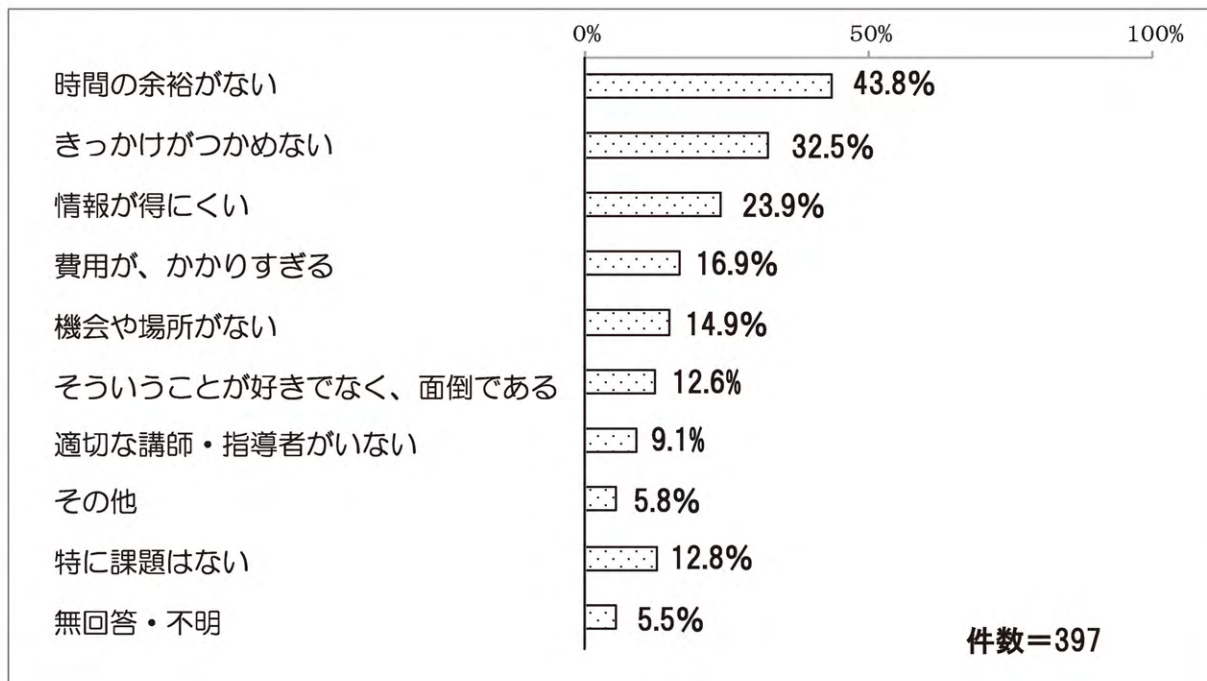
学習方法を男女合わせてみると、「図書・新聞などの出版物、自宅での学習活動(34.1%)」、「グループ・サークル・研修会(29.6%)」、「テレビ・ラジオ・インターネット(28.9%)」、の順に多くなっています。

男女別では大きな違いはありませんが、年代別では次のような特徴があります。

まず、20代から50代では、「職場の教育・研修」で学習する人の割合が高くなっています。全世代の約2割に対し、20代から50代ではいずれも4割を超えています。

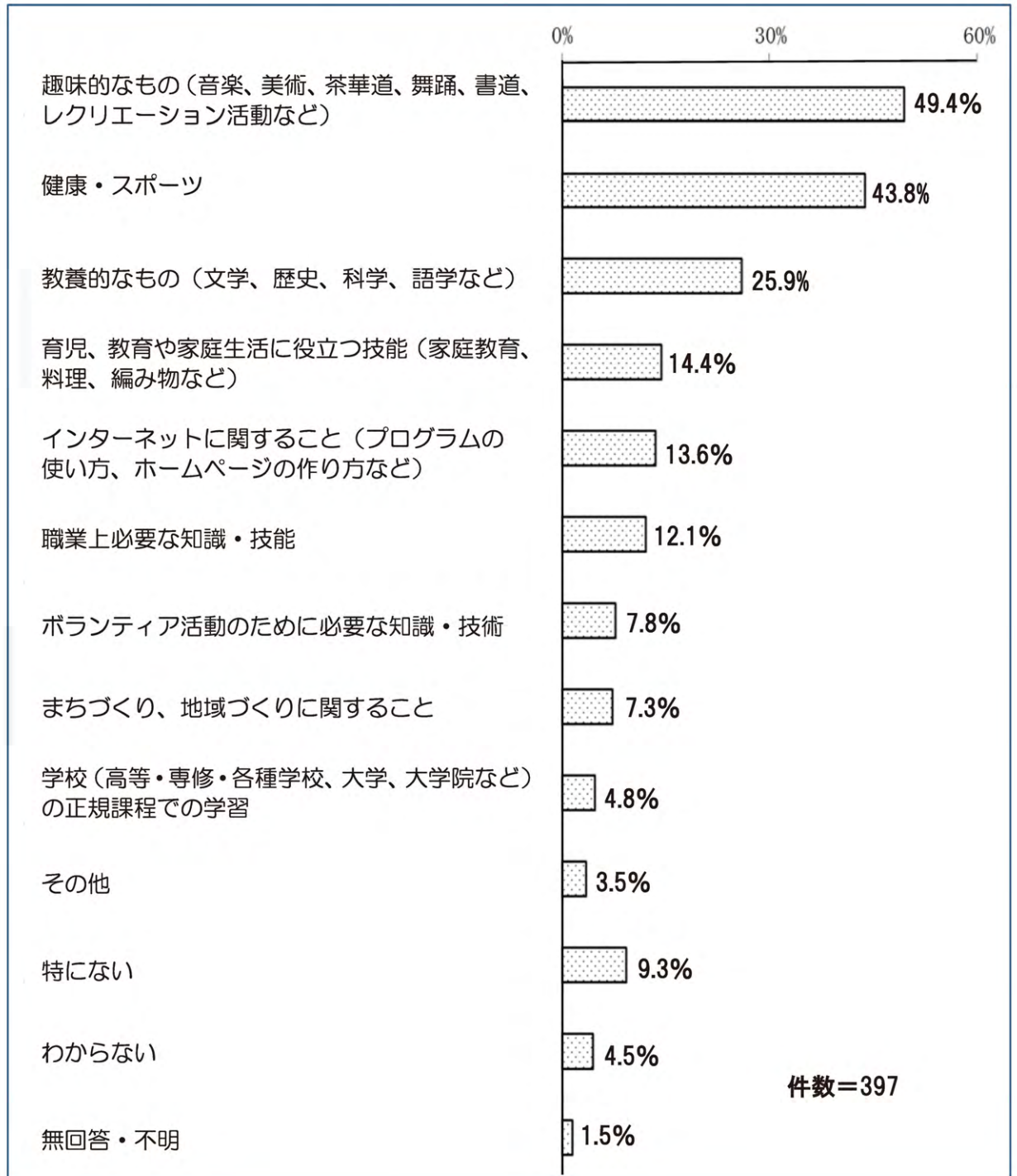
また、50代以上になると「グループ・サークル・研修会」が、さらに60代以上になると「中央公民館など公的な機関における講座や教室」の割合が高くなる特徴を示しています。年齢が高くなるにつれ、仲間と共に学習する人が多くなることがうかがえます。

③ 生涯学習をする上での課題の上位は、「時間の余裕がない(43.8%)、きっかけがつかめない(32.5%)」です。



④ 今後学習したい内容の上位は、「趣味的なもの」、「健康・スポーツ」でした。

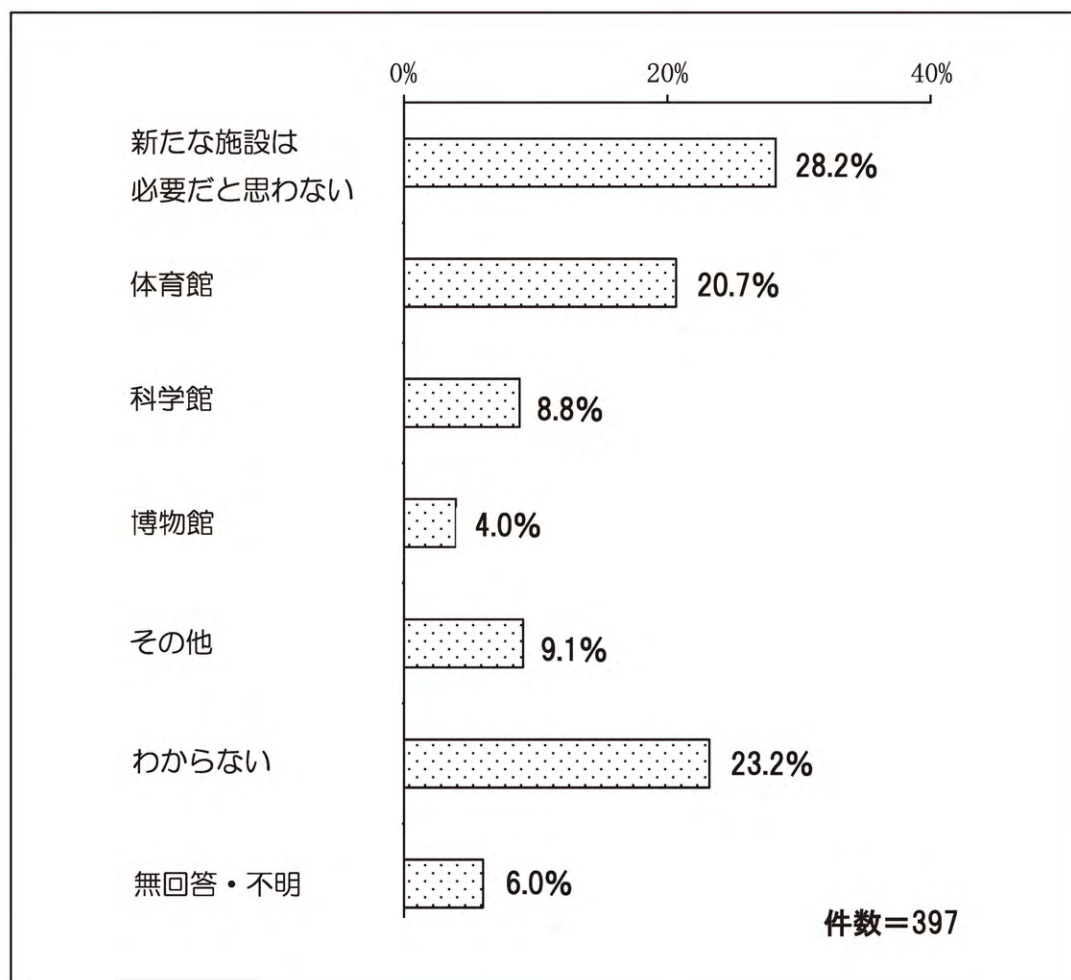
20代、30代では、「育児、教育や家庭生活に役立つ技能」や「職業上必要な知識・技能」に関心を持つ人の割合が高くなっています。



⑤ 本町の生涯学習施設で満足度が最も高いのは、「ふれあいの森」でした。 (%)

施 設 名	満足	普通	不満
中央公民館本館	18.9	69.8	11.3
中央公民館多目的ホール(アグピアホール)	27.5	55.1	17.4
家の近くの地区公民館	20.0	64.5	15.5
オアシスセンター(保健センター)	16.4	76.9	6.7
図書館	25.3	60.4	14.2
阿久比スポーツ村	31.4	54.9	13.7
勤労福祉センター(エスペランス丸山)	17.5	76.3	6.1
ふれあいの森	34.0	62.2	3.7
卯ノ山児童館	31.0	61.9	7.1
グランド	22.7	72.0	5.3
老人憩の家	16.7	77.8	5.6

⑥ 「新たな施設は必要だと思わない」と答えた人(28.2%)が最も多くなっています。

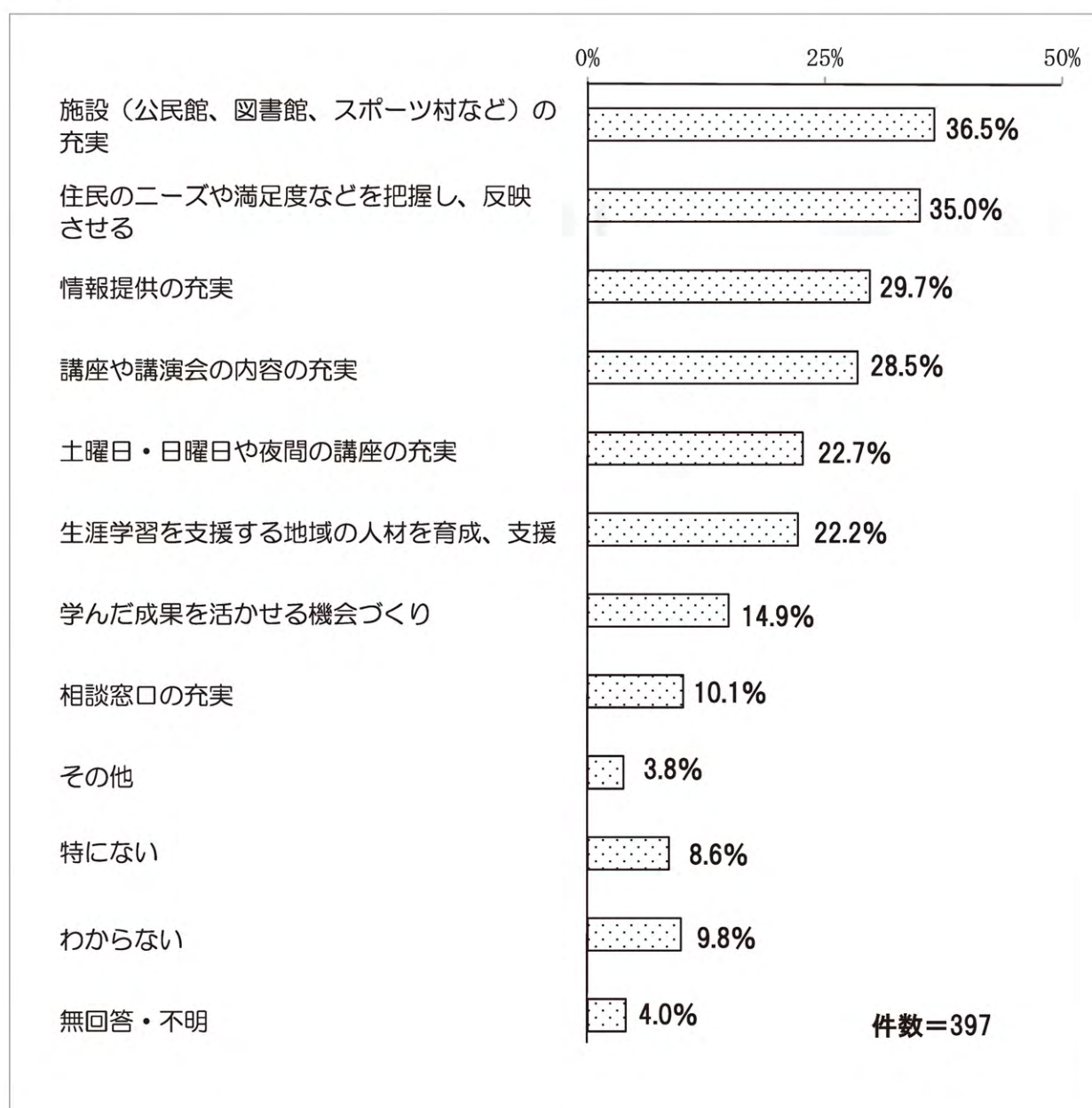


- ⑦ 阿久比町の「生涯学習事業」について、参加者のうち「満足」と答えた人はいずれも２割程度でした。

(%)

事業名	満足	普通	不満
講演会(町民講座、男女共同参画講演会など)	11.9	84.7	3.4
公民館で行われる各種講座・教室	22.2	65.1	12.7
図書館で行われる各種講座・教室	15.6	75.6	8.9
アクティブあぐいで行われる各種スポーツ教室	20.0	62.2	17.8
阿久比町菅原道真公書初め大会	9.5	81.0	9.5

- ⑧ 生涯学習を支えるために町がこれから力を入れるべきことは、今ある施設の充実でした。



Ⅱ 基本計画

1 基本的な考え方

生涯学習は、人々が時代の変化に的確に対応し、充実した人生を送るために、自分に合った方法で、自ら進んで行う学習方法であると考えます。

具体的には、次のようにまとめることができます。

- (1) すべての住民に学習の機会があります。
- (2) 自ら進んで取り組む学習です。
- (3) 生涯の各時期における学習が相互に関わりあって自己実現を広げます。
- (4) 行政・学校・企業・地域などあらゆる領域の理解と協力が必要です。
- (5) 学習の成果が社会において生かされます。

以上のことをふまえ、阿久比町では、「住民一人ひとりが自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果を社会において生かすことにより日々生きがいをもって充実した人生を送ることができるような生涯学習社会」を築いていくために、学習活動を積極的に支援し、条件整備を進めます。

2 基本目標

住民が友人や地域とのつながりの中で意欲をもって学習することにより、多くのふれあいや思いやりの心が育ち、充実した人生を送ることができるようになります。

そこで、本町の生涯学習推進基本目標を次のように定めます。

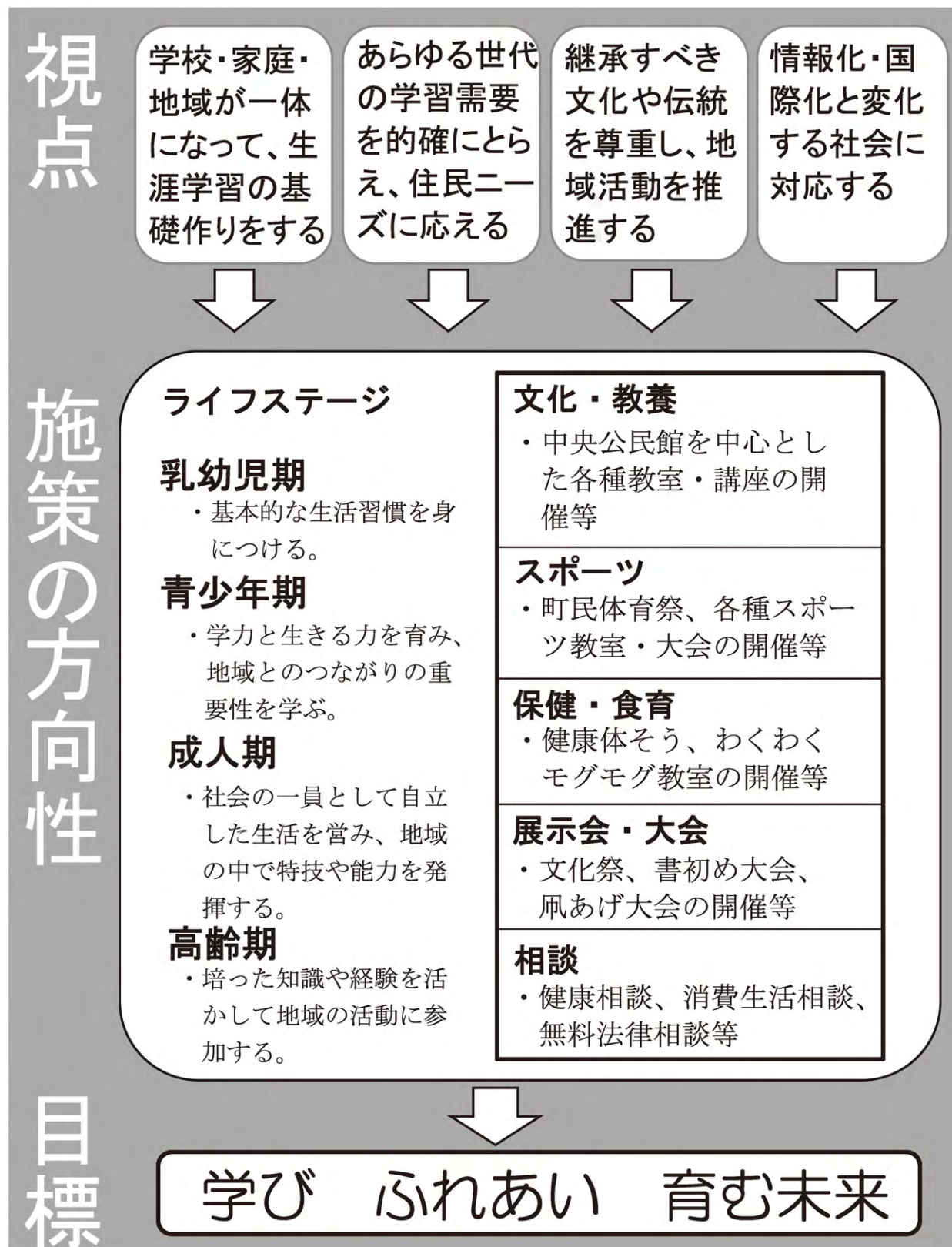
学び ふれあい 育む未来

3 基本的視点

- (1) 学校・家庭・地域が一体になって、生涯学習の基礎作りをする。
家庭や地域の教育機能を充実させ、学校・家庭・地域の連携を推進します。
- (2) あらゆる世代の学習需要を的確にとらえ、住民ニーズに応える。
乳幼児・青少年・成人・高齢者など、あらゆる年代の人を対象にし、それぞれの発達段階を考慮した学習内容を提供します。
- (3) 継承すべき文化や伝統を尊重し、地域活動を推進する。
郷土の歴史や文化を学び、郷土を愛する心を育み、感性を豊かにし、生きる喜びを感じることができるように、地域活動を積極的に支援します。
- (4) 情報化・国際化と変化する社会に対応する。
情報化・国際化が進展し、大きく変化していく社会で、多様化する学習要求に

対応できるように活動内容や施設設備の充実を図ります。

4 計画の構想図

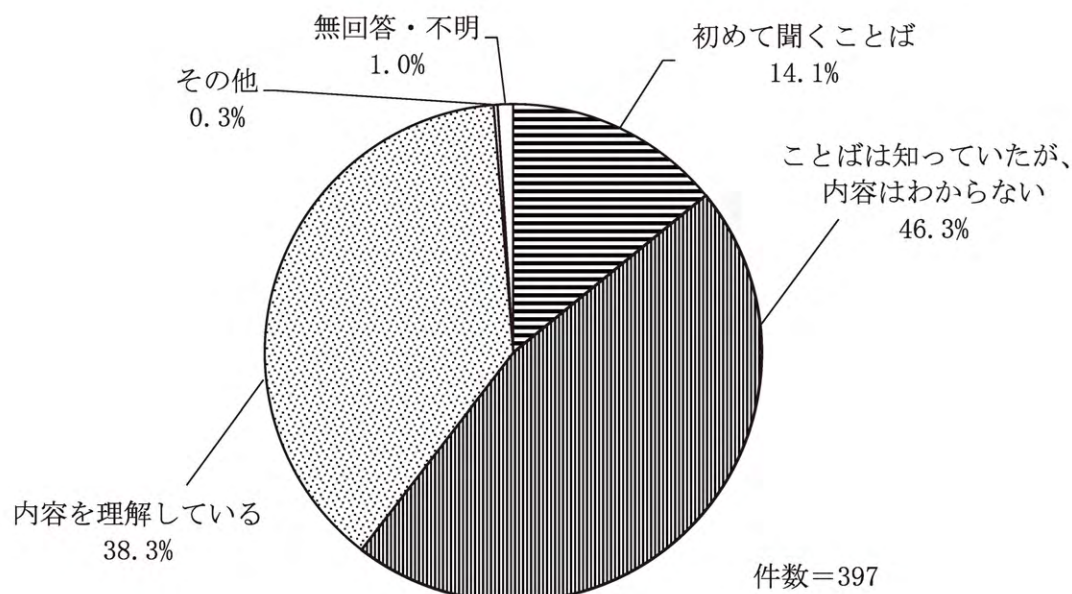


Ⅲ 具体的な施策

1 生涯学習を活性化するために

(1) 現状と課題

令和元年6月に実施した、「生涯学習に関する町民アンケート」によると、「生涯学習について内容まで理解している人」は38.3%、「生涯学習ということばを初めて聞いた人」が14.1%、「ことばは知っていたが内容は分からないという人」が46.3%となっています。また、生涯学習活動を行っていない人が66%に上っています。その理由として、「時間の余裕がない」ことが43.8%を占めています。



上記の結果から、生涯学習に対する重要性が町民に十分認識されていないことが分かります。町のホームページ上でも生涯学習に関する情報の発信を活発に行うなど、生涯学習活動の周知や啓発に力を入れる必要があります。また、日常生活が忙しく、生涯学習活動へ参画できていない町民が数多くいることから、日常生活の中でも気軽に生涯学習活動に取り組むことができる環境の整備が求められています。

今後は、生涯学習の必要性や大切さを広く町民に伝えるとともに、町民が自主的に学ぶことができるよう、情報発信を行う必要があります。さらに生涯学習活動を継続的に活性化したものにするために、生涯学習に関わる団体への支援や人材の育成を進めます。

(2) 主要事業

① 生涯学習に関する啓発と情報発信

事業	内 容	担 当
広報あぐいの活用	町の広報紙に生涯学習に関する情報を掲載して、内容のさらなる充実を図ります。	各担当課

事業	内 容	担 当
ガイドブックの発行	生涯学習ガイドブックを発行し、日時や場所、講座内容など具体的な情報を掲載することにより、町民が参加しやすいようにします。	社会教育課 社会教育係
ホームページの活用	町のホームページで生涯学習に関する情報を簡単に入手したり申し込んだりできるよう、情報発信方法の工夫を行います。	各担当課
高齢者や障がい者へ向けた関連情報の提供	高齢者や障がい者が日々の生活で直面している課題に対する解決策等を提供することで、誰もが生き生きと暮らせる社会を目指します。	住民福祉課 健康介護課 社会福祉協議会

② 学習する場の提供

事業	内 容	担 当
生涯学習講座の開催	町民が生涯学習活動を行う場を提供するため、各種講座を開催します。多種多様なテーマの講座を用意し、より多くの人が興味をもって参加できるものにします。	社会教育課 社会教育係 体育係 公民館係 図書館係
乳幼児とその保護者、高齢者や障がい者を対象とした各種教室・講座の開催	子育ての不安や悩み、日々の生活上で直面している課題を解消し、同じ年代、同じ立場の人同士の語らいの場を提供します。	子育て支援課 住民福祉課 健康介護課 社会福祉協議会
学習内容に応じた場の提供	中央公民館、各地区公民館、勤労福祉センター、丸山武道場、スポーツ村、各小学校・中学校運動場および体育館など、活動内容に合わせた場を提供します。	各担当課

③ 生涯学習に関わる団体への支援・育成

事業	内 容	担 当
生涯学習を担う地域人材の育成・活用	スポーツ指導者養成講習会を開催し、地域で小中学生や一般にスポーツを指導している人や今後してみたい人を対象に講習し、指導技術を高めます。	社会教育課 体育係

2 ライフステージに対応するために

(1) 現状と課題

科学技術の高度化、高齢化、国際化、そして女性の社会参加が進むなかで、学習ニーズの多様化・高度化は著しく進展しています。ライフステージに応じた幅広い学習機会の提供が求められています。

現在、阿久比町にある学習施設・資源の活用はもちろんのこと、各方面の連携・協力体制の確立を図り住民にわかりやすい体系的・総合的な学習プログラムを構築していかなければなりません。また、自主的な学習活動を進めている団体・グループの活動を多面的に支援していくことも重要です。

(2) 主要事業

それぞれのライフステージに応じた学習課題を提供し、住民が主体的に学習できる施策の推進を図っています。



① 乳幼児期に対応

事業	内 容	担 当
ペア教室	妊婦とその家族を対象に、沐浴実技など内容盛りだくさん。仲間作りにも。	健康介護課
離乳食講習会	試食をしながら離乳食の進め方を学びます。	健康介護課
子育て相談	子育ての悩みや不安をもっている保護者や子どもを対象に、保育士やスタッフが対応します。	子育て支援センター
こいのぼり作り	親子でこいのぼりを作り、春の1日を楽しみます。	ふれあいの森

② 青少年期に対応

事業	内 容	担 当
ジュニアスポーツ教室	バドミントン、陸上、ソフトテニス、卓球、剣道、ニュースポーツなどを楽しみながら学びます。	社会教育課 体育係
あぐいタイボキッズクラブ	「身近に出来るボランティア」をテーマとしてさまざまな活動にチャレンジします。	社会教育課 社会教育係
キッズアートクラブ	水彩画の製作や陶芸・和太鼓といった日本文化の体験を通じて、さまざまな美術・文化活動を学びます。	社会教育課 公民館係
ほたるポスター作品展	小中学生が描いたポスター入賞作品の展示会です。	建設環境課
阿久比町スポーツ少年団	サッカー・バスケットボール・少年野球があり、楽しみながら技術を向上させ、各種大会に参加します。	社会教育課 体育係
阿久比町少年少女発明クラブ	道具の基本的な使い方や発明工作の方法などを学習し、創造性を養います。	社会教育課 公民館係

③ 成人期に対応

事業	内 容	担 当
成人式 実行委員会	成人式（式典と集い）の企画・運営を行います。	社会教育課 社会教育係
生活習慣病 予防教室	糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病を予防するための食事・運動習慣について楽しく学びます。	健康介護課
凧づくり指 導者講習会	1 月末開催の凧あげ大会に参加する子どもたちに凧の作り方を指導する指導者養成講座です。	社会教育課 社会教育係

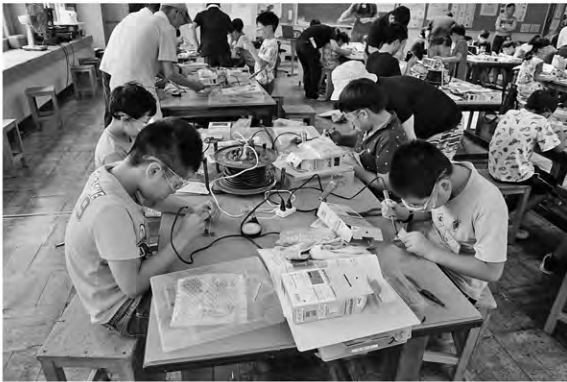
④ 高齢期に対応

事業	内 容	担 当
男性のため の簡単料理 教室	男性を対象とした、簡単な料理の作り方や栄養について学ぶ教室です。	社会教育課 公民館係
元気アップ 教室	体を動かしたり、口の機能や食習慣について見直したりします。	健康介護課
シニアのため のプチア カデミー	普段はなかなか行けないような企業や施設などを訪ねます。	社会教育課 公民館係

⑤ 複数期に対応

事業	内 容	担 当
親子講座等	親子で参加。創作童話を聞いたり、紙工作を作ったりします。	社会教育課 図書館係
パソコン 教室	ワードやエクセルの基礎から、表・イラストの挿入などの技術を学んだり、年賀状を作ったりします。	社会教育課 公民館係
歴史講座	地域に密着した歴史の講座で、毎回違う講師が様々な視点で講演します。	社会教育課 社会教育係
ミニテニス 教室	だれでも気軽に楽しむことができるニュースポーツに親しみます。	社会教育課 体育係
町民体育祭	全地区対抗のレクリエーション大会をはじめとして、少年野球、テニス、軟式野球、剣道、グランドゴルフなどの大会を行います。	社会教育課 体育係
健康なんでも 相談	赤ちゃんからお年寄りまで、誰でも身体測定や健康相談ができます。	健康介護課
消費生活 相談	消費生活のことで困ったときに相談できます。	産業観光課

3 文化・教養を高めるために



少年少女発明クラブ

また、高度情報化社会の到来により、情報ネットワークを通じて、さまざまなサークルやコミュニティへの参加が容易になり、図書検索や貸し出し予約が図書館に行かなくてもできるようになるなど、文化活動への関わりも受動的なものだけでなく自ら参加する能動的な活動が可能となりました。

こうした変化にともない、主体的・創造的な文化活動や文化交流の中で自らの生活の質を高め、自己実現を図る必要があります。また、学習した成果を活用して、新たな学習機会に結び付けたり、成果を社会に還元したりする場を用意するなど、一人ひとりの学習が周りの他の人へと広がっていくような機会を設けていきます。



夏休み子ども教室

(1) 現状と課題

社会の変化や時代の進展に伴って、「ゆとり・うるおい」など心の豊かさを重視する傾向が一段と高まる中、芸術・文化に対する関心は非常に高まっています。町民一人ひとりが関心のある芸術文化活動を進めていくことは、芸術文化が広がるだけでなく、活動を通して町に活力と潤いをもたらす一つのきっかけとなります。

(2) 主要事業

事業	内 容	担 当
親子講座等	親子で参加。創作童話を聞いたり、紙工作を作ったりします。	社会教育課 図書館係
阿久比町少年少女発明クラブ	道具の基本的な使い方や発明工作の方法などを学習し、創造性を養います。	社会教育課 公民館係
歴史講座	地域に密着した歴史の講座で、毎回違う講師が様々な視点で講演します。	社会教育課 社会教育係
夏休み子ども教室	川と海での生き物観察、習字の宿題などを行います。	社会教育課 公民館係
美術講座 美術館に行ってみよう	美術館での絵画の鑑賞法を学んだ後で、実際に美術館へ行って現地で鑑賞します。	社会教育課 公民館係

事 業	内 容	担 当
パソコン教室	ワードやエクセルの基礎から表やイラストの挿入などの技術を学んだり、年賀状を作ったりします。	社会教育課 公民館係
凧づくり指導者講習会	1月末開催の凧あげ大会に参加する子供たちに凧の作り方を指導する指導者養成講座です。	社会教育課 社会教育係
陶芸教室	常滑の陶芸の先生からオリジナルの作品づくりを教えてもらう教室です。	社会教育課 公民館係
童話作法講座	創作童話の作り方、書き方を指導・添削してもらえます。	社会教育課 図書館係
風土記講座	町内の各地に残る伝統行事や風習・習慣について調査し、冊子にまとめます。	社会教育課 図書館係
文学講座	古典の名作をやさしく学びます。	社会教育課 図書館係
板山高根湿地「自然観察会」	普段公開していない板山高根湿地の観察会。湿地だけに生息する貴重なハッチョウトンボやシラタマホシクサを観察します。	建設環境課
板山高根湿地環境ボランティア体験講座	阿久比町にある板山高根湿地の保護活動に従事するボランティアの活動を体験します。	建設環境課
機織体験教室	昔ながらの「はたおり」が体験できます。	社会教育課 公民館係
マイスタディ講座	「〇〇を学習したい」皆さんが企画・運営する講座。受講生は広報等で募集します。	社会教育課 公民館係
マイプロデュース講座	「〇〇を教えたい」皆さんが企画・運営する講座。受講生は広報等で募集します。	社会教育課 公民館係
文化協会主催講座	文化協会の各団体が主催する講座です。平成31年4月現在51団体が活動中です。	文化協会
サークル協議会主催講座	サークル協議会の各団体が主催する講座です。平成31年4月現在42サークルが活動中です。	サークル協議会



美術講座 美術館に行ってみよう



日本舞踊・歌謡舞踊講座
(文化協会主催講座)

4 スポーツに親しむために

(1) 現状と課題

余暇時間の増大やライフスタイルの多様化等により、健康志向が高まり、スポーツ・レクリエーションへの関心や参加意欲も高まっています。

スポーツ・レクリエーションは、体を動かすという生来人間がもっている欲求に応えるだけでなく、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的な充足、健康の保持増進、青少年の人間形成に資するなど、心身両面に働きかけることができると考えられます。このため、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションに親しむことは大きな意義を有しています。また、スポーツ・レクリエーションを行う目的も、これまでの健康・体力の保持・増進や可能性の追求だけでなく、友人や家族間の交流、触れ合いなどに多様化してきています。そして、自己実現と生活の豊かさを求めて、各自の年齢や体力、目的に応じた多種多様な活動が展開されています。



ニユースポーツ・キンボール



ジュニアスポーツ教室・陸上コース

近年、都市化の進行は、青少年の遊びの機会や場が減少し、その体力形成に大きな影響を及ぼしていると言われていきます。中高年については、健康づくりや生きがいづくりの視点から、スポーツ・レクリエーションに対する必要性がますます高まっています。また、高齢者、障がい者が安心して取り組めるような活動の場や機会の提供も重要です。

そのため、今後、誰もが、それぞれのライフステージに応じて、いつでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、スポーツに親しむ機会の提供や、健康・体力づくりの促進、団体の育成や指導者の確保等の支援体制を整えていく必要があります。

小学生に向けては、総合型地域スポーツクラブ、阿久比町主催の教室が充実しており、成人・高齢者向けの教室は、スポーツ吹き矢等が広まりつつありますが、今後さらに充実させていく必要があります。また、各種事業を行うスポーツ施設についても、老朽化が進んでいるため、安心して使用できるよう、今後も点検・整備等を行っていく必要があります。



スポーツ吹き矢

(2) 主要事業

阿久比町では現在、スポーツ少年団として 3 種目 5 団体、体育協会加盟団体として 16 種目 16 団体、スポーツサークルとして 39 団体が 1 年を通してそれぞれ自主的に活動しています。その他、総合型地域スポーツクラブ『アクティブあぐい』を通して、各種スポーツに気軽に参加してもらえる場を提供しています。

事業	内 容	担 当
総合型地域スポーツクラブ『アクティブあぐい』	年会費のみで年齢に関係なく誰もが参加できる種目を多く含む 12 種類の定期的な活動や体力テストなどに参加できます。さらにこれまでにない種目を広めたい場合や、種目を絞って技能を高めたい人にはサークル活動を行うことができます。	アクティブあぐい
ミニテニス教室	だれでも気軽に楽しむことができるニュースポーツに親しみます。	社会教育課 体育係 スポーツ推進委員
町民体育祭レクリエーション大会	全地区参加のレクリエーション大会で、未就学児から中学生まで自由参加の徒競走から、各地区対抗の玉入れ、大縄跳び、作戦リレーなどを行います。	社会教育課 体育係
町民体育祭各種大会	体育協会に所属する少年野球、テニス、軟式野球、剣道、グランドゴルフなど 16 種目の大会です。	社会教育課 体育係
スポーツ指導者養成講習会	地域で小中学生・一般にスポーツを指導している人や今後指導してみたい人を対象に講習会を開きます。	社会教育課 体育係
スポーツ少年団交流大会	各スポーツ少年団ごとにチームを編成して参加する駅伝大会です。	社会教育課 体育係
健康づくりマラソン大会	1.5 km のジョギングの部に加え、性別年齢別に 8 種類の競技の部があります。	社会教育課 体育係
障がい者大運動会	障がい者の皆さんの合同運動会です。	社会福祉協議会
愛知県市町村対抗駅伝競走大会	性別年齢別に選手選考会で選ばれた選手が順番にたすきをつないでいく駅伝競走に参加します。	社会教育課 体育係

5 保健・食育で育むために

(1) 現状と課題

豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには「食」も重要です。食に関する考え方を育て、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができるよう、平成17年6月に食育基本法が成立しました。

そこで、保健センターにおける栄養・食習慣に関する食生活の改善の推進や生活習慣病の予防および健康増進のために、健全な食生活に関する指針の策定および普及啓発と食育の推進が期待されています。

また、健康寿命の延伸を図るためには、生活習慣の改善により、健康を増進し、発病を予防すること(一次予防)が必要です。町民一人ひとりが主役となり、積極的に健康づくりに取り組めるように支援するための環境づくりや、子どもが健やかに育つように母子保健の一層の充実が求められています。また、食に関する情報をインターネットやマスコミ等で入手しやすい分、自分に合った正しい情報を選択できるよう、正しい知識の普及啓発も保健センターの役割の一つとなっています。



離乳食講習会



元気アップ教室

現在、それぞれのライフステージに応じた事業を実施しておりますが、受講者の固定化、募集人員に対して申込者が少ない等の課題があり、より多くの町民が参加しやすいよう講座内容の改善を図っています。

食に関する公民館の3つの講座については、いずれも参加者には好評でリピーターが多いのですが、新しい受講生も増やすことを目的に、令和元年度から『超初心者のための男性料理教室』

を『男性のための簡単料理教室』に変更するなど、町民の要望に柔軟に対応しようとしています。

(2) 主要事業

事業	内容	担当
ペア教室	妊娠中の食事や生活などについて学びます。	健康介護課
健康体そう教室	健康運動指導士の指導の下、健康維持・体力作りのために体そうをします。	健康介護課

事業	内 容	担 当
離乳食講習会	試食をしながら離乳食の進め方を学びます。	健康介護課
生活習慣病 予防教室	生活習慣病を予防するための食事、運動習慣について楽しく学びます。	健康介護課
元気アップ 教室	体を動かし、口の機能や食習慣について見直します。	健康介護課
わくわく♪ モグモグ教室	親子で簡単な食事を作って、楽しく食べます。	健康介護課
ちびシェフ クラブ	小学生を対象にした、楽しい料理教室です。	健康介護課
男性のための 簡単料理教室	男性を対象とした、簡単な料理の作り方や栄養について学ぶ教室です。	社会教育課 公民館係
はじめての 手づくりパン 講座	家庭でできるパンやお菓子づくりを学びます。	社会教育課 公民館係
手づくりバレ ンタイン講座	親子で楽しく、大切な人に贈る手作りチョコを作ります。	社会教育課 公民館係
そば打ち教室	そば打ち体験をし、打ちたてのそばを食べます。	社会教育課 公民館係
箱ずしとおこ しものづくり 教室	尾張の伝統料理「箱ずし」と「おこしもの」をつくる教室です。	社会教育課 公民館係
家庭で手打ち うどんにチャ レンジ	家庭で愛知県産の小麦粉を使った手打ちうどん作りに挑戦します。	社会教育課 公民館係
手作りみそ 講習会	阿久比町産の大豆を使って、安心・安全なみそをつくります。	産業観光課



親子で挑戦・手作りバレンタイン講座



健康体そう教室

6 展示会・大会で成果を披露するために

(1) 現状と課題

学習により得られた知識や技術を社会に還元することは、周囲に利益をもたらすとともに、学習者自身にとっても社会の中でいきいきと活動する場を得ることで、やりがいや喜びが生まれ、さらなる学習活動の動機になります。このため、町民が学習の成果を社会に還元できるよう、学習活動を通じて身につけた知識、技術、経験などの成果を発表する機会や成果を活かせる場の充実を図ります。



阿久比町菅原道真公書初め大会

(2) 主要事業

事業	内 容	担 当
阿久比町生涯学習フェスティバル	文化協会による文協まつり芸能大会と各種展示、体験コーナー、ニュースポーツ体験などがあります。	社会教育課 社会教育係 体育係 公民館係
文化祭	文化祭総合展示、みんなの美術展などの展示や、芸能大会、俳句大会、狂俳大会、川柳大会、囲碁大会、将棋大会などの各種大会を行います。	社会教育課 公民館係
産業まつり	町内の産業を広く紹介し、産業とくらし、文化のふれあいの場とします。	産業観光課
町民講座	各界の著名人を招いての講演会です。	社会教育課 社会教育係
愛知県労福協知多支部写生大会	写生を通して自然にふれあい、春の1日を楽しみます。	産業観光課
ゴミゼロ運動	町内一円の環境美化推進運動です。	建設環境課
プール一般開放	町内各小学校のプールを自由に使って体力づくりをします。	社会教育課 体育係
町子ども会お楽しみ交流会	町内の子ども会同士でレクリエーションを通して楽しく交流します。	社会福祉協議会
親子ビーチボールバレー決勝大会	各地区の予選を勝ち抜いた12チームによるトーナメント戦です。	社会教育課 社会教育係
阿久比町菅原道真公書初め大会	幼児から大人まで誰でも参加できる書初め大会です。	社会教育課 社会教育係
成人式	新しく成人になられた方の門出をお祝いします。	社会教育課 社会教育係
凧あげ大会	各地区ごとに個人がつくった小凧や、団体ごとに作った大凧をあげます。	社会教育課 社会教育係

7 相談に寄り添うために

(1) 現状と課題

町民の学習活動が多様化する中で、必要とされる学習情報はますます細分化し、個別化していくことが考えられます。

そこで、学習者が必要とする情報をより早く、正確に、広く収集・提供する情報サービス体制を構築する必要があります。加えて、学習ニーズを喚起する情報や潜在的な学習要求を具体的な学習活動に結び付ける情報の提供等、町民が自ら主体的に学習活動に取り組もうとする自発的学習の芽を育て、大きく成長させていく支援が必要となります。

また、一人ひとりの生涯学習活動について相談に応じたり、困っていることに援助したりすることも個々の学習活動を支えるための有効な手段になります。そこで、生涯学習を含めて身の回りのさまざまな活動や生活に関する相談体制を充実させ、学習活動を始めようとしている人や学習活動をずっと続けていこうと考えている人たちを側面的に支援していくことが大切となります。これらのことから、町民が生涯学習活動を行う上での相談・支援の機能を担う窓口を設けていくなど学習相談・支援体制の整備を進めていく必要があります。



むし歯予防デー

(2) 主要事業

事業	内容	担当
人権・行政・心配ごと相談	人権・行政・心配ごとなど、どんなことでも相談を受け付けます。	住民福祉課 社会福祉協議会
健康なんでも相談	赤ちゃんからお年寄りまで、身長、体重、血圧などを測定し、健康不安に対する相談を受け付けます。	健康介護課
むし歯予防デー	無料で歯科健診とフッ素塗布を行います。	健康介護課
無料法律相談	身の回りの法律的な相談を受け付けます。	住民福祉課
介護保険制度や福祉サービスの相談窓口	介護保険や高齢者福祉についての相談を受け付けます。	地域包括支援センター 健康介護課等
高齢者の総合相談窓口	高齢者に関する相談を受け付けます。	地域包括支援センター
消費生活相談	消費生活で困った時の相談を受け付けます。	産業観光課
臨床心理士によることばの相談室	臨床医心理士が、言葉の遅れや発達に関する相談に応じます。	子育て支援センター

IV 資料

1 阿久比町生涯学習推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 本町における生涯学習について研究協議を行うとともに、生涯学習の総合的な推進を図るため、阿久比町生涯学習推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会の所掌事項は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 生涯学習推進計画の調査・審議に関すること。
- (2) 生涯学習推進体制の確立に関すること。
- (3) 生涯学習関連事業の連携、協力に関すること。
- (4) 生涯学習推進事業の企画、実施に関すること。
- (5) その他、生涯学習の推進に関すること。

(組織)

第3条 協議会は、次の各号に掲げるもののうち委員12名以内で組織し、町長が委嘱する。

- (1) 教育長
- (2) 小中学校 PTA 代表
- (3) 社会教育委員協議会代表
- (4) 家庭教育推進協議会代表
- (5) 青少年健全育成地区推進員連絡協議会代表
- (6) 文化協会代表
- (7) 体育協会代表
- (8) 図書館協議会代表
- (9) 社会福祉協議会代表
- (10) あぐい女性の会代表
- (11) 学識経験者
- (12) その他、町長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補充によって就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第5条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名

- 2 会長は、教育長をもってこれを充てる。
- 3 副会長は、委員のうちから会長が指名する。

(職務)

第6条 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会は、会長が招集し、会長が議長となる。

- 2 協議会は、委員の半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(庶務)

第8条 協議会の庶務は、教育委員会社会教育課において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年12月1日から施行する。

2 阿久比町生涯学習推進協議会委員名簿

	役 職	氏 名	公 職 等
1	会 長	石井 勝巳	教育長
2		竹内 辰幸	小中学校 PTA 代表 ※阿久比中学校 PTA 会長
3		北中 祥子	社会教育委員協議会代表 ※副会長
4		瀧塚 政明	家庭教育推進協議会代表
5		新美 智彦	青少年健全育成地区推進員連絡協議会代表
6	副会長	大村 浩嗣	文化協会代表
7		武田 宏	体育協会代表
8		加古 葉子	図書館協議会代表
9		大村 泰敬	社会福祉協議会代表
10		山本 恵美子	あぐい女性の会代表 ※副会長
11		榎本 秀樹	いきいきクラブ連合会代表

任期（2年）：平成31年3月12日～平成33年（令和3年）3月11日

事務局

氏 名	
田中 清高	教育部長
新海 芳明	社会教育課長
瀧塚 訓正	中央公民館長
細川 愛	社会教育係長
石本 憲司	社会教育指導員
竹内 貴紀	主 査
伊藤 恵津子	主 査

3 生涯学習に関する町民アンケート調査結果

【調査概要】

(1) 調査の目的

生涯学習に関して町民の意識や実態を把握し、計画策定の資料とすることを目的にしています。

(2) 調査概要

① 調査対象 阿久比町在住の16歳以上の男女

② 抽出方法 無作為抽出

③ 調査期間 令和元年6月3日～7月9日

(3) 回収結果

① 配布数 1,000人（男性500人・女性500人）

② 回収数 397人（男性179人、女性216人、性別無回答2人）

(4) 報告書の見方

- ・回答率は、小数第2位を四捨五入したため合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答を認めたものについては、その項目を選んだ人が回答者全体に占める割合を表しており、その比率の合計は100%を超えます。
- ・一人の対象者にひとつの回答のみを認めた問に、複数項目を選んだ回答は「無回答・不明」に含めています。

【回答者（属性）】

(1) 性別

男性	女性	無回答	総数
179人	216人	2人	397人
45.1%	54.4%	0.5%	100.0%

(2) 年齢

16～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	総数
16人	42人	62人	48人	58人	85人	85人	1人	397人
4.0%	10.6%	15.6%	12.1%	14.6%	21.4%	21.4%	0.3%	100.0%

(3) 居住学区

東部	英比	草木	南部	無回答・不明	総数
112人	134人	56人	85人	10人	397人
28.2%	33.8%	14.1%	21.4%	2.5%	100.0%

(4) 在住年数

10年未満	10～19年	20～29年	30～39年	40～49年	50年以上	無回答・不明	総数
86人	56人	65人	65人	55人	69人	1人	397人
21.7%	14.1%	16.4%	16.4%	13.9%	17.4%	0.3%	100.0%

【 1 「生涯学習」ということばの認知・理解度について 】 (％)

選 択	男	女	総計
初めて聞くことば	16.8	12.0	14.1
ことばは知っていたが内容はわからない	47.5	45.8	46.3
内容を理解している	34.6	41.2	38.3
その他	0.0	0.5	0.3
無回答・不明	1.1	0.5	1.0

約6割の方が理解が十分でないことがうかがえます。また、「16～19歳」「20代」では、「初めて聞くことば」と回答した人の割合が最も高くなっており、若年層の認知度が低いこともうかがえます。

【 2 現在の学習（生涯学習）の方法について 】 (％)

選 択	男	女	総計
図書・新聞などの出版物、自宅での学習活動	40.7	29.3	34.1
グループ・サークル・研修会	28.8	30.7	29.6
テレビ・ラジオ・インターネット	23.7	32.0	28.9
職場の教育・研修	28.8	16.0	21.5
中央公民館など公的な機関における講座や教室	8.5	18.7	14.1
民間カルチャーセンターの講座や教室、通信教育	8.5	18.7	14.1
学校（高等学校、大学、大学院、専門学校など）の講座や教室	8.5	12.0	10.4
その他	5.1	6.7	5.9

20代から50代では、「職場の教育・研修」で学習する人の割合が高くなっています。50代以上になると、「グループ・サークル・研修会」が、さらに60代以上になると、「中央公民館など公的な機関における講座や教室」の割合が高くなる特徴を示しています。

【 3 生涯学習をする上での課題 】 (％)

選 択	男	女	総計
時間の余裕がない	39.1	48.1	43.8
きっかけがつかめない	32.4	32.4	32.5
情報が得にくい	25.1	23.1	23.9
費用が、かかりすぎる	10.6	22.2	16.9
機会や場所がない	14.5	15.3	14.9
そういうことが好きでなく、面倒である	11.2	13.9	12.6
適切な講師・指導者がいない	9.5	8.8	9.1
その他	5.6	6.0	5.8
特に課題はない	16.2	10.2	12.8
無回答・不明	5.6	5.1	5.5

男女合わせて、最も多かったのは「時間の余裕がない」ことで、20代から50代では半数を超えています。

【 4 学習したい内容について 】

(%)

選 択	男	女	総計
趣味的なもの (音楽、美術、茶華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	45.3	53.2	49.4
健康・スポーツ	43.6	44.4	43.8
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	27.9	24.1	25.9
育児、教育や家庭生活に役立つ技能(家庭教育、料理、編み物など)	7.3	20.4	14.4
インターネットに関すること (プログラムの使い方、ホームページの作り方など)	13.4	13.9	13.6
職業上必要な知識・技能	12.3	12.0	12.1
ボランティア活動のために必要な知識・技術	8.4	7.4	7.8
まちづくり、地域づくりに関すること	11.2	4.2	7.3
学校(高等・専修・各種学校、大学、大学院など)の正規過程での学習	3.9	5.6	4.8
その他	2.2	4.6	3.5
特になし	9.5	9.3	9.3
わからない	3.9	5.1	4.5
無回答・不明	1.1	1.4	1.5

学習したい内容として、男女合わせて最も多かったのは「趣味的なもの」で49.4%の人があげています。続いて、「健康・スポーツ」を43.8%の人があげています。いずれも、男女そして年代問わず興味のある人が多いことがうかがえます。

また20代、30代では、「育児、教育や家庭生活に役立つ技能」や「職業上必要な知識・技能」に関心を持つ人の割合が高くなっています。

【 5 本町の生涯学習施設の満足度 … 利用したことがある人のみを集計 】

(%)

施 設 名	満足	普通	不満
中央公民館本館	18.9	69.8	11.3
中央公民館多目的ホール(アグピアホール)	27.5	55.1	17.4
家の近くの地区公民館	20.0	64.5	15.5
オアシスセンター(保健センター)	16.4	76.9	6.7
図書館	25.3	60.4	14.2
阿久比スポーツ村	31.4	54.9	13.7
勤労福祉センター(エスペランス丸山)	17.5	76.3	6.1
ふれあいの森	34.0	62.2	3.7
卯ノ山児童館	31.0	61.9	7.1
グランド	22.7	72.0	5.3
老人憩の家	16.7	77.8	5.6

【 6 本町に必要なと思う生涯学習施設 】 (%)

選 択	総計
新たな施設は必要だと思わない	28.2
体育館	20.7
科学館	8.8
博物館	4.0
その他	9.1
わからない	23.2
無回答・不明	6.0

【 7 阿久比町の生涯学習事業の満足度… 参加したことがある人のみを集計 】 (%)

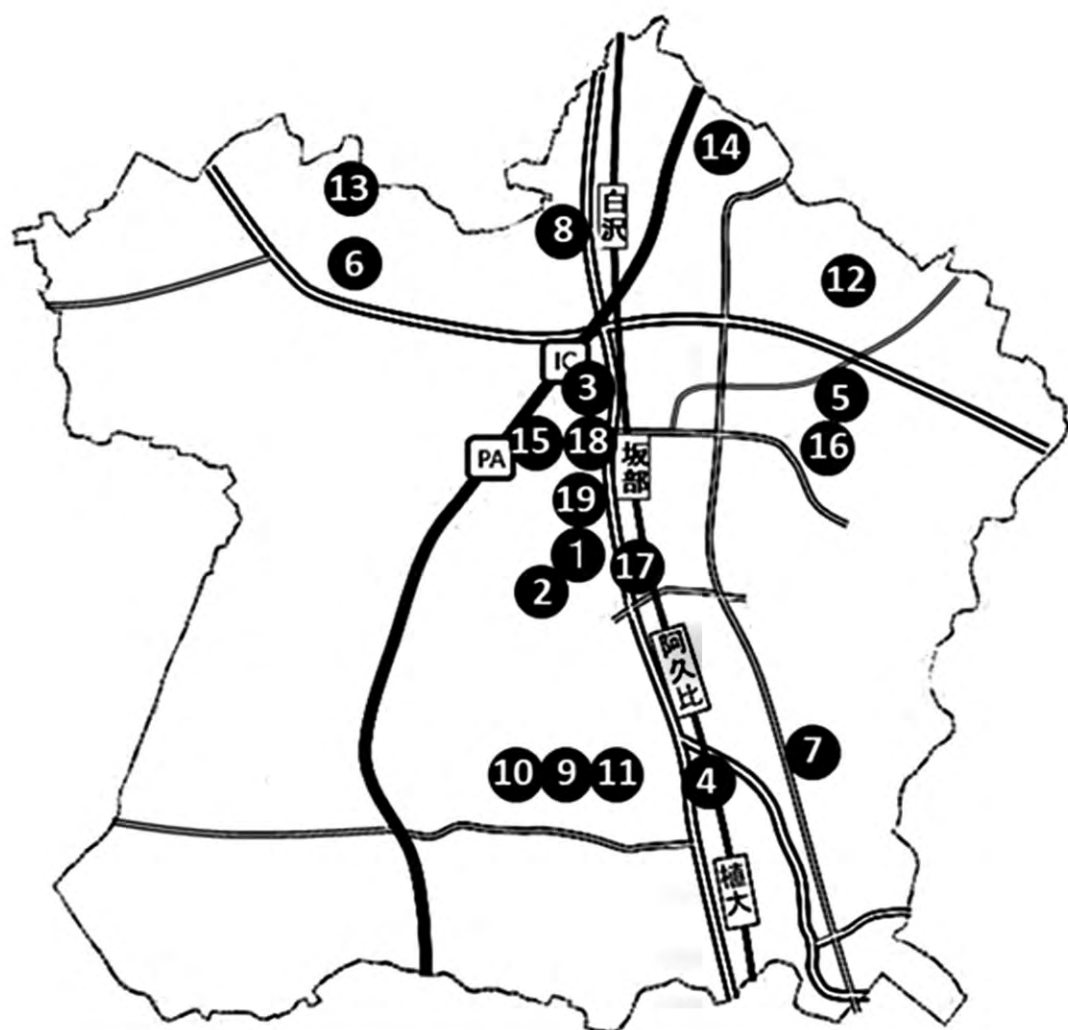
事 業 名	満足	普通	不満
講演会(町民講座、男女共同参画講演会など)	11.9	84.7	3.4
公民館で行われる各種講座・教室	22.2	65.1	12.7
図書館で行われる各種講座・教室	15.6	75.6	8.9
アクティブあぐいで行われる各種スポーツ教室	20.0	62.2	17.8
阿久比町菅原道真公書初め大会	9.5	81.0	9.5

【 8 生涯学習を支えるために町が力を入れるべきこと 】 (%)

選 択	総計
施設(公民館、図書館、スポーツ村など)の充実	36.5
住民のニーズや満足度を把握し、反映させる	35.0
情報提供の充実	29.7
講座や講演会の内容の充実	28.5
土曜日・日曜日や夜間の講座の充実	22.7
生涯学習を支援する地域の人材を育成、支援	22.2
学んだ成果を活かせる機会づくり	14.9
相談窓口の充実	10.1
その他	3.8
特にない	8.6
わからない	9.8
無回答・不明	4.0

町が力を入れるべきことは、男女を合わせて最も多かった回答は、「施設(公民館、図書館、スポーツ村など)の充実」です。続いて、「住民のニーズや満足度を把握し、反映させる」ことがあげられています。

4 生涯学習関連施設はどこにあるの？



① 中央公民館本館	② 中央公民館 多目的ホール (アグピアホール)	③ 坂部公民館
④ 中部公民館	⑤ 板山公民館	⑥ 草木公民館
⑦ 宮津公民館	⑧ 白沢区民館	⑨ 勤労福祉センター (エスペランス丸山)
⑩ 丸山公園武道場	⑪ 丸山公園	⑫ 板山グラウンド
⑬ 草木グラウンド	⑭ 白沢グラウンド	⑮ スポーツ村
⑯ ふれあいの森	⑰ オアシスセンター	⑱ 図書館
⑲ 卯ノ山児童館		

① 中央公民館本館 	集会室 研修室（６） 和室（２） 調理実習室 大会議室 資料室等	利用時間 9：00～21：30 受付は８：30～ 利用のないときは 平日は19：00、 土日祝日は17：00に閉館 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 中央公民館 ４８－１１１１
② 中央公民館多目的ホール 	ホール 練習室（２）	利用時間 9：00～21：30 受付は８：30～ 利用のないときは 平日は19：00、 土日祝日は17：00に閉館 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 中央公民館 ４８－１１１１
③ 坂部公民館 	講堂 会議室 調理実習室	利用時間 8：30～21：30 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 48－5060
④ 中部公民館 	講堂 会議室 調理実習室	利用時間 8：30～21：30 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 48－2613

⑤ 板山公民館 	講堂 集会室 会議室 調理実習室	利用時間 8 : 30～21 : 30 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 4 8 - 0 0 8 1
⑥ 草木公民館 	講堂 研修室 会議室 調理実習室	利用時間 8 : 30～21 : 30 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 4 8 - 0 0 8 6
⑦ 宮津公民館 	講堂 研修室 会議室 集会室 調理実習室	利用時間 8 : 30～21 : 30 休館日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 4 8 - 3 5 4 8
⑧ 白沢区民館 	会議室 体育室 卓球室	利用時間 9 : 00～21 : 30 休館日 月曜日、金曜日 年末・年始 利用申し込み・問合せ先 4 8 - 4 3 2 5

⑨ 勤労福祉センター 	多目的ホール 集会室等	利用時間 9:00～21:30 開館は8:30 受付時間 9:00～16:30 休館日 月曜日、年末・年始 利用申し込み・問合せ先 48-6644
⑩ 丸山公園武道場 	武道場	利用時間 9:00～21:30 受付時間 9:00～16:30 休館日 月曜日、年末・年始 利用申し込み・問合せ先 勤労福祉センター 48-6644
⑪ 丸山公園 	運動広場 テニスコート	利用時間 4月～9月 6:00～21:00 10月～3月 7:00～21:00 利用申し込み・問合せ先 〈予約に関して…受付時間内〉 勤労福祉センター 48-6644 〈全般に関して〉 建設環境課都市計画係 48-1111
⑫ 板山グランド 	運動広場	利用時間 4月～9月 6:00～19:00 10月～3月 7:00～17:00 利用申し込み・問合せ先 スポーツ村 49-2500

⑬ 草木グランド 	運動広場	利用時間 4月～9月 6:00～19:00 10月～3月 7:00～17:00 利用申し込み・問合せ先 スポーツ村 49-2500
⑭ 白沢グランド 	運動広場 テニスコート 多目的広場	利用時間 4月～9月 6:00～19:00 10月～3月 7:00～17:00 利用申し込み・問合せ先 スポーツ村 49-2500
⑮ スポーツ村 	野球場 陸上競技場 室内練習場 トレーニング室	利用時間 4月～9月 6:00～19:00 10月～3月 7:00～17:00 個人利用は 9:00～17:00 トレーニング室のみ 月・水・金は 9:00～21:00 休場日 12月28日～1月4日 利用申し込み・問合せ先 スポーツ村 49-2500
⑯ ふれあいの森 	ホタル養殖場 芝生広場 体育室 パターゴルフ場 デイキャンプ場	利用時間 1月～3月、10月～12月 9:00～17:00 4・5・9月 6:00～17:00 6月～8月 6:00～19:00 体育室は 9:00～21:30 休場日 毎月第3月曜日、年末・年始 利用申し込み・問合せ先 ふれあいの森 48-8431

⑪ オアシスセンター 	保健センター 高齢者生きがい活動施設	利用時間 8:30～17:15 休館日 土曜日、日曜日、 国民の祝日、 年末・年始 問合せ先 保健センター 48-1111
⑫ 図書館 	一般閲覧室 児童閲覧室 親子閲覧室 参考・ 郷土資料室 展示ホール 学習室 視聴覚室	利用時間 10:00～18:00 土・日・祝日 10:00～17:00 休館日 月曜日、年末・年始 毎月最終木曜日 (祝日の場合は翌日) 特別整理期間 …毎年1回15日以内 利用申し込み・問合せ先 図書館 48-6231
⑬ 卯ノ山児童館 	遊戯室 集会室	利用時間 4月～9月 9:00～18:00 10月～3月 9:00～17:00 休館日 月曜日、年末・年始 利用申し込み・問合せ先 卯ノ山児童館 48-4430

学校施設



草木小学校 48-0053



英比小学校 48-0022



阿久比中学校 48-0050



南部小学校 48-0014



東部小学校 48-0041

阿久比町生涯学習推進計画
～学び ふれあい 育む未来～

発行年月 令和2年3月

発行 阿久比町教育委員会社会教育課
〒470-2292

愛知県知多郡阿久比町大字卯坂字殿越 50 番地

TEL : 0569-48-1111 FAX : 0569-48-6229

E-mail : shakyo@town.agui.lg.jp